

## 令和3年度 自己評価チェックリスト

### 【第1章 総則 教育・保育の基本】

#### 現状と課題

- ・『1. 教育・保育の基本について』法令（教育・保育要領）を読んだことはあるが、理解をし、説明をするという段階まで達していない。理解の難しさを感じている。そのほかの項目については、実践もできている。
- ・法令を理解できていても実践ができていないこともある。
- ・『2. 教育及び保育の配慮』『6. 子どもの発達』『1. 乳児保育に関わるねらい及び内容（1）身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」』に関しては理解をし、実践できている。
- ・教育・保育について言語化、可視化することが難しいと感じるのは勉強不足、言語化する経験の不足と職員同士のコミュニケーション不足。
- ・法令について理解が正しいのか自信がない。
- ・教育・保育について議論時に感覚的になってしまい結論が出ない。納得できない。伝えられない。

#### 今後の取組

- ・理解し実践できているところは今後も継続していけるよう定期的に振り返りながらすすめていく。
- ・法令（教育・保育要領）をしっかりと読み込む。
- ・障害児保育等、経験によって情報量に差が出る傾向にあるが、職員全体（全職種）で共有、共通理解できる仕組みづくりを目指す。
- ・自分なりの理解を職員間で伝える機会を持ち、意見を言い合える環境づくりに努める。
- ・繰り返し勉強を重ねながら意識をしながら日々実践をしていく。
- ・研修に参加したり、法令についてわかりやすく伝えている文献等を探し職員間で共有する。

### 【第2章 「ねらい」及び「内容」】

#### 1, 「乳児保育に関わるねらい及び内容」

#### 現状と課題

- ・一人一人を大切に保育をすすめている。
- ・家庭の様子を聞きながら家庭と同じように保育をすすめていき、園での様子も伝え連携をとれるようにしている。
- ・テラス等おもちゃを十分には点検できていない。常にではない。
- ・はいはいする子達がお散歩だとベビーカーに乗っているだけ。プレイルームも使えなかったら十分な場所がない。
- ・静かな空間かわからないが、遊んでいる子と柵ごしに真隣りの場所に寝かす。

#### 今後の取り組み

- ・おもちゃの整理整頓をし、発達に合ったおもちゃをピックアップする。ない物は購入してもらう。

- ・身の回りの点検を考えていく。

## 2、「1歳以上3歳未満児の保育にかかわるねらい及び内容」

### 現状と課題

- ・子どもの気持ちに寄り添い、思いを受け止め生活リズムを大切にしながら安心して過ごすことのできるよう心掛けている。
- ・一人一人の成長発達、活動についてチームワーク良く保育ができるよう話し合い、連絡を取り周知できるようにしている。
- ・感染症などにより異年齢、他グループとのかかわりが少ない。
- ・子どもが自由に玩具を選んで遊びができていない。
- ・環境面において、子どもが自由に玩具を選ぶことのできるコーナー保育やコーナー遊びがない。年齢に合った身体活動。
- ・手先、指先を使う玩具が少ない。
- ・子どもの年齢に合った玩具（素材、数）がそろっていない。
- ・職員同士の共通理解への工夫が必要。

### 今後の取り組み

- ・教育保育のねらいをしっかりと持ち、先を見通す計画をしっかりと立てる。
- ・子ども、職員も多いので共通理解と家庭との連携を持ちながら教育保育をしていく。
- ・年齢に合った経験、玩具、色々な素材に触れる事が出来るようにしていく。

## 3、「保育の実施に関わる配慮事項（乳児・1歳以上3歳未満児）」

### 現状と課題

- ・一人一人の生活リズム、成長を大切に配慮している。
- ・アレルギーについて常に声を掛け合い確認をしている。
- ・離乳食の進め方について家庭と連絡を取り合い行っているが難しい所もある。
- ・職員間の情報は共有しているが、進級時など伝わっていない事がある。
- ・オムツ交換時、十分に注意しているが、交換時のシートの交換、手洗いはそのつどはできない。感染症（ノロ等）の時は行うようにしている。
- ・室内環境において、温度、湿度など十分に注意している。
- ・部屋の使い方などで狭さを感じることもあるので工夫が必要。
- ・オムツ交換時の職員の動き、配慮についての取り組みが必要。
- ・掃除の方法、職員の動きなど考え方が違う。

### 今後の課題

- ・部屋の使い方など話し合いを行い、環境を考えていく。

- ・オムツ交換時の取り組みなどすぐにできる事は行っていく。  
(手洗いが大変な時は消毒液を利用するなどする。)
- ・掃除の準備、方法などみんなで確認をしていく。

#### 4, 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容

##### 現状と課題

- ・5領域を大切に日々の保育に取り組んでいる。
- ・人と接する中で相手に対する思いやりや気づかう気持ちを保育の中で言葉がけや絵本・紙芝居などを使って知らせるようにしている。
- ・季節の歌だけでなく様々な歌に触れ子ども達が楽しそうに歌っている。
- ・楽器や遊びを自由に選択して使える環境ではない。
- ・黙食と一緒に食べる楽しさや喜びが感じられているか不安。
- ・環境を工夫しているかの問いかけに日々の保育にいっぱいいっぱいできていない。
- ・自由遊びの時に、玩具を自由に選択できない。玩具や道具の数に限りがある。
- ・水遊びを自由にできないている。
- ・地域の交流がコロナの事もあり難しい。
- ・廃材を集めたが活用がない。

##### 今後の課題

- ・コーナーあそびや廃材あそびなど自由に遊んだり、表現したりする環境を整える。
- ・テープなどの教材を自由に使いながら使い方を覚える機会をつくる。
- ・子ども達が自主的に気づき、考えられるような環境をもっと提供できないか活動を見直す。
- ・子どもの行動や発言を注意深く観察し、良い事やすごい事をピックアップして言葉にしていく。
- ・散歩などを増やし、長い時間ではないが地域との関りを増やす。
- ・自分の行動や言葉使いをもう一度見直し、相手を思いやる保育ができているか考える。
- ・ストレスをためない保育の展開。

## 【第3章 健康及び安全】

##### 現状と課題

- ・各クラスと連携を取り、園児の健康状態等を記録し職員会議等で伝えるようにしている。
- ・プランターの野菜など子どもが育て、取ってきた物を給食に利用している。
- ・すべての園児の一人一人の出生時から把握できていない。
- ・災害など、発生した場合の対応の仕方を詳しく知れていない。
- ・不審者が園内進入した時の職員全体の共通理解がされていない。
- ・看護師、保育士との情報共有が給食室はあまりできていない。

##### 今後の課題

- ・子どもの健康、発達状態を把握した上で栄養指導などに努めていく。
- ・全職員の共通理解をはかる。
- ・アンケートを通して発育の悩みなど指導していける環境をつくる。
- ・災害時のマニュアルを熟読し、いざという時に備える。

## 【第4章 子育て支援】

### 現状と課題

- ・保護者の気持ちに寄り添いながら保育するよう努力し、その内容等職員で共通理解し確認しながら進めている
- ・地域の関係機関などと連携し、相談・連絡等進めていくようにしている
- ・子どもの養育方針などは十分に理解されていない部分を感じる。
- ・自分の保育の意図を分かりやすく保護者に説明する自信がない。
- ・子育て支援で重要な地域の保育のニーズや関係機関等についてまだまだ知らないことも多く、コロナもあり地域との結びつきが以前より減った部分もみられ残念だった。

### 今後の取り組み

- ・職員間で意識し合い、子ども達一人ひとりの理解を深め、保護者との連携を深めていく努力をしていく。
- ・保育者としての向上を個人的に努力するとともに、今以上に職員と連携を取り保育をしていく。
- ・地域の関係機関を知るとともに、コロナと共存しながら何ができるのか考え前に進む努力をしていく。具体的には、まず地域を知っている理事長先生や園長先生と相談しながら進めていく。

## 【第5章 職員の資質向上】

### 現状と課題

- ・職員間では保育について話を聞いたり、自分の意見を伝えたりしている。
- ・月の終わりにクラスで次の月の保育予定を決めている。
- ・部屋に貼ってある保育理念など時々読んで考えるときもある。
- ・日々向上するために努力している。
- ・研修がオンラインが主になり学びたいものを選びやすくなった。
- ・園の保育理念や基本方針などなんとなくしか頭に入っていない。
- ・個人での研修や研究が中心で保育内容や自己評価に反映される事が難しい。全体での資質向上につながりにくい。
- ・コロナによって集まる機会が減ったり、意見交換をする機会が減った。
- ・なかなか研修に参加できない。
- ・研修になかなか参加できないが調べたり、本を購入したり自分にできる事をしている。
- ・わかっている、できている「つもり」で過ごしている。

- ・園の保育理念や基本方針に合わせた会議や研修が行われていない。
- ・わかりやすく伝える事が難しい。
- ・保育について同じ方向を向いて進めていきたいが、その場面になって浮かび上がってくるものもある。

#### 今後の取り組み

- ・1年間を通して目標を立てていく。
- ・自分の保育を見直し計画的な保育が出来るよう内容を日々考えていく。またクラスを通し実践していく。
- ・園の保育理念を踏まえて日々の活動、行事を行っていく。
- ・保育理念や保育内容について改めて見直し、しっかりと理解していく。
- ・保育理念や教育方針に合わせた会議や研修を行う。
- ・経験年齢別の研修があるとよい。
- ・研修に積極的に参加する。
- ・わからない事はすぐに確認しあう。
- ・保護者としっかり関り、信頼関係を築き子どもの成長を共に見守っていく。
- ・一人一人が楽しく笑って仕事ができるようコミュニケーションを大切にしていく。
- ・吸収していく姿勢を常に持つ。
- ・チェックの設問の言葉、意味をもう一度考え教育・保育に生かしていく。
- ・先を見すえた活動計画、生活の仕方を知らせていく。
- ・資質向上のために効果的な方法を考えて実行していく。
- ・それぞれが自分の置かれている立場を理解しながら、保育の資質向上に心掛ける。